いきいき自治会

富士見二丁目自治会

今日も楽しかった？気をつけて帰ってね

昭和44年に設立された私たちの自治会は、地区内に幼稚園、小学校、工業高校などがあり、少子化の時代にあって、子ども達と接する機会が多いという特徴を持っています。

中でも富士見小学校は、市内最大の生徒数を誇り、登下校時の児童の元気なあいさつは、この地域の活力の源です。そんな子ども達が、安全にそして安心して暮らせるよう、自治会では下校時の見守り活動に日々取り組んでいます。また、子供会と連携したさまざまな行事などを通じて、積極的に子ども達と交流を図っています。市内一の世帯数と、子ども達の笑顔に支えられた素晴らしい地域です。

みんなでつなぐ 市民リレー

私の宝物 …

心に安らぎをくれるひょうたん

佐野健一さん（堀兼在住）

私の宝物は、種から育て作り上げた、ひょうたんの作品です。

妻に頼まれ、ひょうたんを育てたのがきっかけで始めた作品制作。様々な形の実と、それを作り上げる多様な技術に引き込まれました。制作は難しく、力加減やタイミングで表情がガラリと変わってしまいます。理想的な作品を作りたくて試行錯誤しながらひょうたんに向き合っていると、つい時間が経つのを忘れてしまうほどです。でも、その時間が私に安らぎを与えてくれ、忙しい日常の中で心に落ち着きを取り戻させてくれます。そんな大切な時間をくれたひょうたんの作品の一つ一つが、私にとって大事な宝物です。

どんな時でも、心に安らぎを与えてくれるひょうたん制作を、これからも続けていきます。

形も模様も千差万別

次回は、北入曽にお住まいの方を紹介します。

文化財60年のあゆみ ②

梅宮神社の甘酒祭り

～市制施行後、最初に選択された文化財～

埼玉県では、指定文化財以外で、特に必要のある無形民俗文化財を選択して保存に努めています。「梅宮神社の甘酒祭り」は、饗宴（きょうえん）型の酒盛り祭りで、関東地方では他に見られない、頭屋（とうや）制という運営が評価され、昭和30年に県が初めて選択した無形民俗文化財です。

市制施行後に、選択された文化財は、狭山市では「梅宮神社の甘酒祭り」だけです。また、平成4年3月11日には、より重要な保護の対象となる、埼玉県指定無形民俗文化財にも指定されました。

●文化財データ

選択年月日／埼玉県選択無形民俗文化財（昭和30年11月1日）　**開催日**／毎年2月10・11日

今回紹介したものはホームページにも掲載しています。

ハロー 仲間たち Vol.392

全国の各県人で楽しもう会

私たちの会は、日本各地にふるさとを持つ人々が集まって、みんなで楽しんじゃおうというグループです。今年の1月に発足してから、すでに50人ほどが仲間になりました。

「遠くの親戚（しんせき）より近くの他人」とは、よく言ったもので、ふるさとの自慢話や食事会などを楽しみながら、会のテーマである「ふるさと支援」を模索しています。これから、日本中のふるさとを応援するために何ができるか、おもしろいアイデアを出していこうと知恵を絞っているところです。

現在の目標は、年内に会員1,000名を突破すること。6月12日㈭には、智光山荘でバーベキュー大会を開催しますので、興味がある方は、ぜひご連絡ください。

問合せ神谷直子さん（18時以降）へ☎2957-1336

情報ガイド

- 市政
- 暮らす
- 学ぶ・楽しむ
- 教育・子育て・キッズ
- 募集
- 官公庁など

- 主に市からのお知らせを掲載します
- 「定員」は原則として先着順、「場所」の掲載がない催しは問合せ場所が会場、「費用」の掲載がないものは無料です
- 公式ホームページにはさらに多くの情報があり、公民館などに設置してある公共施設予約端末でもご覧いただけます

公式ホームページ　http://www.city.sayama.saitama.jp/
公式モバイルサイト　http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/
市役所の所在地　〒350-1380 狭山市入間川1-23-5

情報ガイド

市政

ありがとうございました

温かい寄附をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

▼青梅信用金庫から小・中学生を対象とした文化・体育・スポーツ振興のために20万円、テント1張り

▼ヒント会から交通遺児のために4万3千円

▼S・Yさん（下奥富）から社会福祉のために100万円

みどりの基金へ寄附

▼あらゆる障害児（者）を守る会から2万円

▼いるま野農業協同組合から10万円

▼入間川婦人会から5千15円

店舗・住宅リフォーム工事費の一部を補助

市内在住の方が、居住する住宅や店舗（空き店舗を含む）を改修する際の工事費を補助します。

補助要件▼市税などを滞納していない ▼当該工事に係る他の補助制度を活用していない　**工事の条件**▼屋根、外壁、居室などの改修で、建築確認が不要の法に定める建築確認が不要の簡易な工事 ▼市内業者が6月1日以降に施工し、平成27年3月31日までに終了する ▼工事費用が税抜き20万円以上　**補助額**▼住宅の場合…税抜き工事費の5％（限度額は10万円）▼店舗の場合…税抜き工事費の10％（限度額は30万円）

※申込多数は、5月27日㈫の13時30分から公開抽選　**申込み**5月19日㈪～26日㈪に、申請書（商工業振興課、地区センターに用意。ホームページからもダウンロード可）と必要書類を持って同課へ内線2552

成人式の日程が変わります

狭山市成人式の日程が、来年から「成人の日」の前日の日曜日に変わります。

開催日平成27年1月11日㈰　**場所**市民会館　**対象**平成6年4月2日～7年4月1日生まれの方　※対象者には、6月に日程などのご案内をお送りします　**問合せ**社会教育課へ内線5673

市長随想 ⑭

人口減少と高齢化率

私が高校生の時、弁論大会で「人生わずか60年」と演壇から多くの高校生が叫んでいました。あれから55年、現在の本市の平均寿命は、男性80歳、女性87歳と県下でも最長寿クラスです。それに伴う高齢化率も、平成3年に高齢化社会といわれる7％、16年に高齢社会の14％、22年には超高齢社会21％に達し、現在は26％になりました。20年後のわが国の高齢化率は約33％に達する見込みで、その時点での高齢世帯の割合は40％を超えるといわれています。

一方、本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、20年後には約16％減って129,400人となり、14歳以下の年少人口は現在の18,100人から10,900人へと約40％減るという予測が出ています。

右肩上がりの社会の中で育った私たちは、改めてこのような将来を示されてどう対処していくべきか、先例がないだけに苦慮しています。核家族化の進行、晩婚化、少子化など、どれもが個人の問題であり、行政が簡単に解決できるものではありません。これからは、人口減少社会を見据えた縮み社会の中で、市民の皆さんの力を借りながら、身の丈に合った行政を先取りしていくことが求められていると感じています。

狭山市長 仲川幸成
似顔絵 花倉正喜氏

市長の主な動き

○4/1…辞令交付式、臨時庁議 ○4/2…さやま市民大学学長委嘱状交付式 ○4/3…埼玉県市長会正副会長会議・役員会 ○4/6…消防団入団式 ○4/9～15…登校交通安全指導 ○4/9・23…定例庁議 ○4/10…埼玉県市長会定期総会 ○4/16…市民相談員委嘱状交付式 ○4/23…総合振興計画市民会議 ○4/24…市議会第1回臨時会 ○4/25…協働推進委員委嘱状交付式 ○4/29…狭山新茶と花いっぱいまつり